PC98-NXシリーズ

NEC

VersaPro/VersaPro J

はじめにお読みください

UltraLite
(Windows XP Professionalインストールモデル)
(Windows XP Home Editionインストールモデル)

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
梱包箱を開けたら、まず本書の手順通りに操作してください。

本書では、特にことわりのない場合、Windows XP Professional、およびWindows XP Home Editionを総称して、Windows XPと表記します。

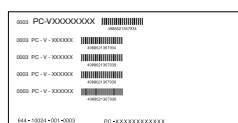
なお本書に記載のイラストはモデルにより多少異なります。

操作の流れ

1 型番を控える

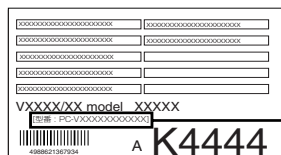
型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されているスマートセレクション型番(15桁の型番です)、またはフリーセレクション型番(フレーム型番とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。

フリーセレクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなくした場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。

左が「スマートセレクション型番」、右が「フリーセレクション型番」のステッカーです。
スマートセレクション型番のステッカーの場合は、「スマートセレクション型番を控える」へ、フリーセレクション型番のステッカーの場合は、p.4「フリーセレクション型番を控える」へ進んでください。

スマートセレクション型番を控える

スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、p.7「2 添付品の確認」へ進んでください。

1. スマートセレクション型番を次の枠に控える

スマートセレクション型番

PC-V❶□12FCH❷□❸□❹□❺□W

□の意味は次のとおりです。

❶モデルの種類を表しています。

✓	型　番	モデル
	Y	VersaPro
	J	VersaPro J

❷インストールOS、選択アプリケーションの種類を表しています。

<table>
<tr><th>✓</th><th>型　番</th><th>インストールOS</th><th>選択アプリケーション</th></tr>
<tr><td></td><td>E</td><td rowspan="2">Windows XP Professional</td><td>なし</td></tr>
<tr><td></td><td>J</td><td>Office Personal 2003</td></tr>
</table>

❸FDD、CD-ROM系の種類を表しています。

<table>
<tr><th>✓</th><th>型　番</th><th>FDD</th><th>CD-ROM系</th></tr>
<tr><td></td><td>A</td><td rowspan="2">USB FDD</td><td>CD-ROM</td></tr>
<tr><td></td><td>J</td><td rowspan="2">CD-R/RW with DVD-ROM</td></tr>
<tr><td></td><td>R</td><td>なし</td></tr>
<tr><td></td><td>Y</td><td>USB FDD</td><td rowspan="2">なし</td></tr>
<tr><td></td><td>Z</td><td rowspan="2">なし</td></tr>
<tr><td></td><td>1</td><td>CD-ROM</td></tr>
</table>

❹合計メモリ、通信機能の種類を表しています。

<table>
<tr><th>✓</th><th>型　番</th><th>合計メモリ</th><th>通信機能</th></tr>
<tr><td></td><td>T</td><td>512MB(オンボード256MB+256MB)</td><td rowspan="2">LAN&無線LAN(IEEE802.11a/b/g)&FAXモデム</td></tr>
<tr><td></td><td>Y</td><td>768MB(オンボード256MB+512MB)</td></tr>
<tr><td></td><td>2</td><td>512MB(オンボード256MB+256MB)</td><td rowspan="2">LAN&FAXモデム</td></tr>
<tr><td></td><td>4</td><td>256MB(オンボード256MB)</td></tr>
</table>

❺ハードディスクの容量、再セットアップ用媒体の種類を表しています。

<table>
<tr><th>✓</th><th>型　番</th><th>ハードディスク容量</th><th>再セットアップ用媒体</th></tr>
<tr><td></td><td>4</td><td>40GB（1.8型HDD）</td><td rowspan="2">再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納</td></tr>
<tr><td></td><td>D</td><td>40GB（1.8型HDD）&SecurePack（InfoCage/モバイル防御付）</td></tr>
<tr><td></td><td>X</td><td>40GB（1.8型HDD）</td><td>再セットアップ用CD-ROM添付</td></tr>
</table>

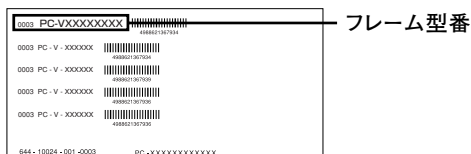
※上記の❶～❺の全ての組み合わせが実現できているわけではありません。

以上で型番を控えるは完了です。
次にp.7「2　添付品の確認」へ進んでください。

フリーセレクション型番を控える

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、p.7「2　添付品の確認」へ進んでください。

1. フレーム型番を次のチェック表にチェックする

PC-V❶□12FCH❷□W

□の意味は次の通りです。

❶モデルの種類を表しています。

✓	型　番	モデル
	Y	VersaPro
	J	VersaPro J

❷インストールOSの種類を表しています。

✓	型　番	インストールOS
	E	Windows XP Professional
	U	Windows XP Home Edition

2. コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする

0003 PC-VXXXXXXXX 4988621367934
0003 PC - V - XXXXXX 4988621367934
0003 PC - V - XXXXXX 4988621367939
0003 PC - V - XXXXXX 4988621367936
0003 PC - V - XXXXXX 4988621367936
644 - 10024 - 001 -0003 PC -XXXXXXXXXXXX

コンフィグオプション型番

次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番は、どのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されている選択必須と選択したモデルやオプションによってステッカーに記載される選択任意のものがあります。また、ステッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。
COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

❶PC-N-HD□□□J、PC-J-HD□□□Jはハードディスクを表しています(選択必須)。

✓	型　番	ハードディスク
	M10	100GB
	M80	80GB
	T20	20GB(1.8型HDD)
	T40	40GB(1.8型HDD)

❷PC-N-NE□□□J、PC-J-NE□□□Jは通信機能を表しています(選択必須)。

✓	型　番	通信機能
	T3L	LAN&無線LAN(IEEE802.11a/b/g)
	TLN	LAN

❸PC-N-MB□□□J、PC-J-MB□□□Jは合計メモリを表しています(選択任意)。

選択しなかった場合は、256MB(オンボード256MB)になります。

✓	型　番	合計メモリ
	C51	512MB DDR SDRAM(オンボード256MB+256MB)
	C76	768MB DDR SDRAM(オンボード256MB+512MB)
	C12	1280MB DDR SDRAM(オンボード256MB+1GB)

❹PC-N-CD□□□J、PC-J-CD□□□JはCD-ROM系を表しています(選択任意)。

選択しなかった場合は、CDレスモデルになります。

✓	型　番	CD-ROM系
	CCD	CD-ROM
	CRD	CD-R/RW with DVD-ROM
	CDS	DVDスーパーマルチドライブ

❺PC-□-FDFDDHはFDDを表しています（選択任意）。

選択しなかった場合は、FDレスモデルになります。

✓	型　番	FDD
	N、またはJ	USB FDD

❻PC-N-AP□□□□、PC-J-AP□□□□は選択アプリケーションを表しています（選択任意）。

✓	型　番	選択アプリケーション
	SPEG	Office Professional Enterprise 2003
	SSEF	Office Personal 2003

❼PC-N-PD□□□□、PC-J-PD□□□□はマウスを表しています（選択任意）。

✓	型　番	マウス
	MUSJ	USBマウス
	MULH	光センサーUSBマウス

❽PC-N-□□□□□J、PC-J-□□□□□Jはセキュリティ機能1を表しています（選択任意）。

✓	型　番	セキュリティ機能1
	FPCXE	内蔵指紋センサ

❾PC-N-□□□□□J、PC-J-□□□□□Jはセキュリティ機能2を表しています（選択任意）。

✓	型　番	セキュリティ機能2
	SCBMP	SecurePack（InfoCage/モバイル防御付）

❿PC-N-□□□□□J、PC-J-□□□□□JはUSBメモリを表しています（選択任意）。

✓	型　番	USBメモリ
	ADUSM	USBメモリ

⓫PC-N-BC□□□J、PC-J-BC□□□Jは再セットアップ用媒体を表しています（選択任意）。

✓	型　番	再セットアップ用媒体
	CXP	再セットアップ用CD-ROM Windows XP Professional用
	CXH	再セットアップ用CD-ROM Windows XP Home Edition用

※上記の❶～⓫の全ての組み合わせが実現できているわけではありません。

以上で型番を控えるは完了です。
次のページの「2　添付品の確認」へ進んでください。

2 添付品の確認

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

- 梱包箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙などが入っている場合がありますので、本機をご使用いただく前に必ずご一読ください。また、紛失しないよう、保管には十分気を付けてください。
- 本機を箱から取り出すときは、マニュアル類が入っている面が下になるように、箱を置き直してください。

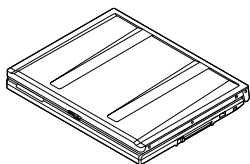
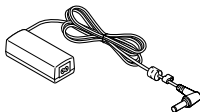
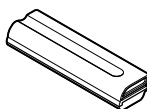
❶箱の中身を確認する

p.2の1またはp.4の1、p.5の2の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

▭ は、各々1つにパックされています。

□保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

□はじめにお読みください(このマニュアルです)

□ソフトウェアのご使用条件（お客様へのお願い）
（箱の中身を確認後必ずお読みください）
□ソフトウェア使用条件適用一覧/添付ソフトウェアサポート窓口一覧
（箱の中身を確認後必ずお読みください）
□アプリケーションCD-ROM／マニュアルCD-ROM
□セキュリティチップ ユーティリティCD-ROM
（Windows XP Professionalモデルの場合添付）
□安全にお使いいただくために
□活用ガイド　再セットアップ編
□保証規定&修理に関するご案内

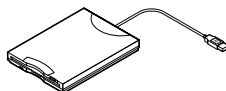
マニュアル

アプリケーションを選択した場合添付

□選択アプリケーション
Microsoft® Office Personal Edition 2003、または
Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003
添付品は、選択アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。
（p.3 1-❷、またはp.6 2-❻で選択アプリケーションの種類がわかります）

マニュアル

FDDを選択した場合添付

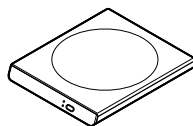
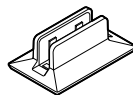
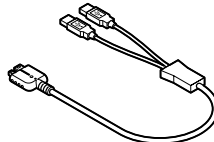
□フロッピーディスクドライブ

マウスを選択した場合添付

□マウス

再セットアップ用媒体を選択した場合添付

□再セットアップ用CD-ROM

CD-ROM系の種類がCD-R/RW with DVD-ROM、またはDVDスーパーマルチドライブの場合添付

□WinDVD CD-ROM / RecordNow! / DLA CD-ROM

❷本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-VX XXX…XX

万一違っているときは、すぐにご購入元にご連絡ください。また保証書は大切に保管しておいてください。

なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で添付品の確認は完了です。

次のページの「3　使用場所の決定」へ進んでください。

3 使用場所の決定

使用場所を決める

○ 使用に適した場所

使用に適した場所は次のような場所です。

◆屋内

◆温度5℃～35℃、湿度20％～80％（ただし結露しないこと）

◆平らで十分な強度があり、落下のおそれがない（机の上など）

× 使用に適さない場所

次のような場所では使用しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

◆磁気を発生するもの（扇風機、スピーカなど）や磁気を帯びているものの近く

◆直射日光があたる場所

◆暖房機の近く

◆薬品や液体の近く

◆腐食性ガス（オゾンガス）などが発生する場所

◆テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く

◆人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

◆ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

◆ホコリが多い場所

◆本体背面または側面にある通風孔がふさがる場所

◆テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

使用場所が決まったら……

使用場所が決まったら、本機の使用と添付品の接続を行います。
また、本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。

本機を移動するときは……

本機に接続している、全てのケーブル、コード（電源コードなど）を取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持ってください。また移動中に、壁などにぶつけたりすると故障や破損の原因となりますので、大切に取り扱ってください。

以上で使用場所の決定は完了です。
次のページの「4　添付品の接続」へ進んでください。

4 添付品の接続

接続するときの注意

- **LANケーブル(別売)は接続しない、無線LAN機能はオフにする**

  LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。

  また、無線LANモデルをお使いの場合は、無線LAN機能がオフになっていることを確認してください。

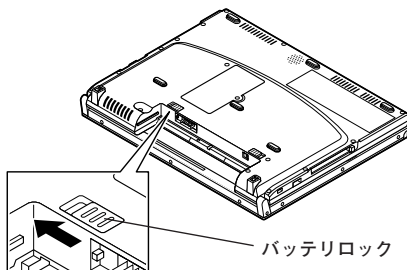
- **添付品の接続をするときは、コネクタの端子に触れない**

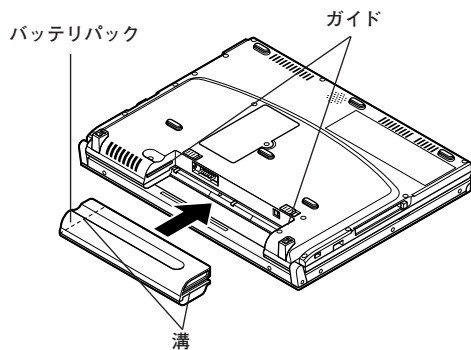
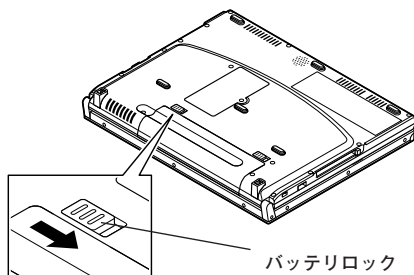
  故障の原因となります。

添付品の接続方法

1. バッテリパックを取り付ける

❶本体を裏返す

❷バッテリロックを矢印の方向にスライドさせ、ロックを解除する

❸本機にバッテリパックを取り付ける

バッテリパックの両側の溝と本機のガイドを合わせて、矢印の方向にゆっくりとスライドさせ、カチッと音がするまでしっかり取り付けてください。
取り付けるときは、バッテリパックの向きに注意してください。

❹バッテリロックを矢印の方向にスライドさせ、バッテリパックをロックする

2. ACアダプタを取り付ける

本機には、電源コードの他にウォールマウントプラグが添付されています。ウォールマウントプラグは携帯に便利な小型のプラグで、電源コードのかわりにACアダプタに接続して使用することができます。用途にあわせて電源コードかウォールマウントプラグのどちらかをお使いください。

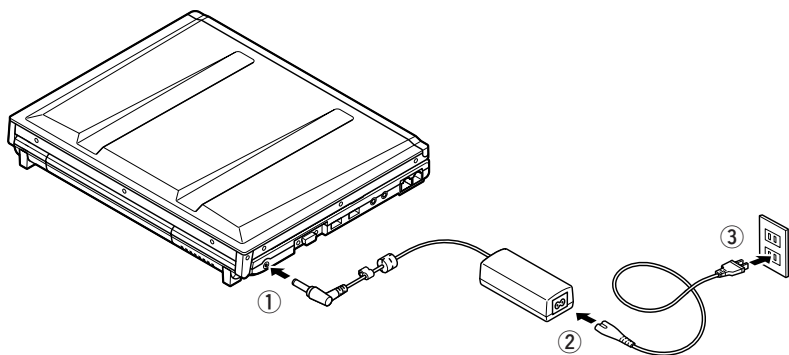
- ご購入直後は、バッテリ駆動ができないことや動作時間が短くなること、バッテリ残量が正しく表示されないことがあります。
  必ず、フル充電してから使用してください。
- Windowsのセットアップが終わるまで、ACアダプタを抜かないでください。

❶電源コードを使用する場合

①本機左側面の電源コネクタ(⎓)に、ACアダプタ(PC-VP-BP47)を差し込む

②電源コードをACアダプタに接続する

③電源コードのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

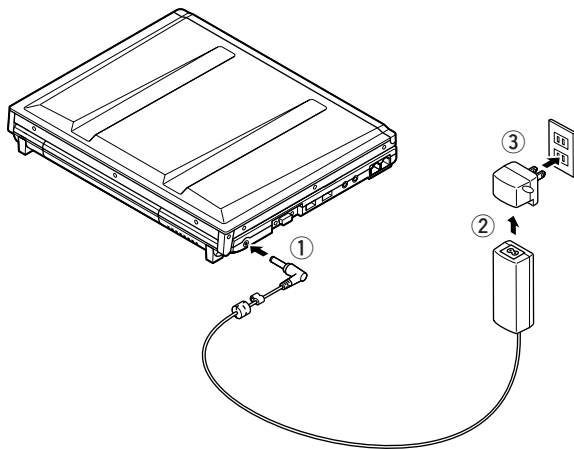
ACアダプタを取り付けると、自動的にバッテリの充電が始まり、バッテリ充電ランプ(▭)がオレンジ色に点灯します。
バッテリがフル充電されるとバッテリ充電ランプ(▭)が消灯します。

バッテリの充電状態によってはバッテリ充電ランプ(▭)が点灯しない場合があります。これはバッテリが95%以上充電されているためです。

❷ウォールマウントプラグを使用する場合

①本機左側面の電源コネクタ(⎓)に、ACアダプタ(PC-VP-BP47)を差し込む

②ウォールマウントプラグをACアダプタに接続する

③ウォールマウントプラグを壁などのコンセントに差し込む

ACアダプタを取り付けると、自動的にバッテリの充電が始まり、バッテリ充電ランプ(▭)がオレンジ色に点灯します。
バッテリがフル充電されるとバッテリ充電ランプ(▭)が消灯します。

バッテリの充電状態によってはバッテリ充電ランプ(▭)が点灯しない場合があります。これはバッテリが95%以上充電されているためです。

以上で添付品の接続は完了です。
次のページの「5　Windowsのセットアップ」へ進んでください。

5 Windowsのセットアップ

初めて本機の電源を入れるときは、Windowsセットアップの作業が必要です。

Windowsのセットアップの途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源コードを引き抜いたりすると、故障の原因になります。

セットアップをするときの注意

・**周辺機器は接続しない**
この作業が終わるまでは、「4　添付品の接続」で接続した機器以外の周辺機器(プリンタや増設メモリなど)の取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒にご購入された場合は、先に「5　Windowsのセットアップ」から「8　使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。

・**LANケーブル(別売)は接続しない、無線LAN機能はオフにする**
LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。
また、無線LANモデルをお使いの場合は、無線LAN機能がオフになっていることを確認してください。

・**システム設定を変更しない**
Windowsのセットアップが終了するまではシステム設定を変更しないでください。システム設定を変更すると、Windowsのセットアップが正常に終了しない場合があります。

・**途中で電源を切らない**
作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源コードを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので、慌てずに手順通り操作してください。

・**セットアップ中は放置しない**
Windowsのセットアップが終了し、いったん電源を切るまで、セットアップ中でキー操作が必要な画面を含み、本機を長時間放置しないでください。

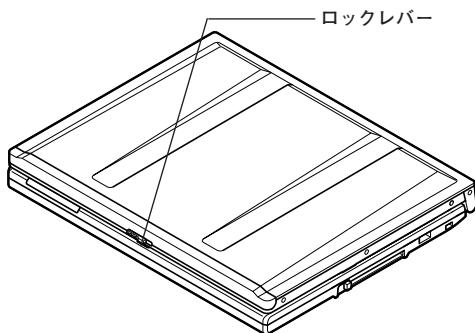
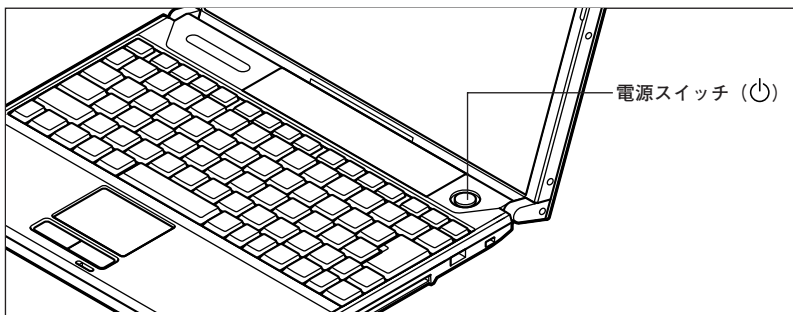
障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、p.21「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

セットアップを始める前の準備

Windowsのセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

電源を入れる

❶本機のふたを開ける

ロックレバーを右にスライドさせたまま、ふたを持ち上げます。

❷本機の電源を入れる

チェック!!

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。
また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。
これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
※：社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインに従い、ドット抜けの割合を「付録」の「仕様一覧」に記載しています。ガイドラインの詳細については、以下のWEBサイトをご覧ください。
「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html

セットアップの作業手順

以降は、お買い上げいただいたオペレーティングシステムに従って、次の「1. Windows XP Professionalのセットアップ」、またはp.19「2. Windows XP Home Editionのセットアップ」に進んでください。

1. Windows XP Professionalのセットアップ

Windows XP Professionalのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまでは、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 手順④～⑦の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

(同意しない場合セットアップは続行できません)

❹「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❺「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「管理者パスワードを設定してください」画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

❼「このコンピュータをドメインに参加させますか？」画面が表示された場合は、「いいえ」、または「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❽「インターネットを確認しています」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❾「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❿「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

⓫「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Professionalのセットアップが終了したら、p.20「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

2. Windows XP Home Editionのセットアップ

Windows XP Home Editionのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 手順④、⑤の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

(同意しない場合セットアップは続行できません)

❹「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❺「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「インターネットを確認しています」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❼「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❽「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

❾「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Home Editionのセットアップが終了したら、次の「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

電源を切る

次の手順で正しく電源を切ってください。

❶「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリック

❷「電源を切る」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

以上でWindowsのセットアップは完了です。
本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。
p.22「LANケーブルの接続」へ進んでください。

セットアップ中のトラブル対策

◎ 電源スイッチを押しても電源が入らない

電源コード、またはウォールマウントプラグの接続が不完全であることが考えられるので、一度電源コード、またはウォールマウントプラグをコンセントから抜き、本機とACアダプタ、ACアダプタと電源コード、またはウォールマウントプラグがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源コード、またはウォールマウントプラグをコンセントに差し込む

電源コードを接続し直しても電源が入らない場合は、本体の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

◎ セットアップの画面が表示されない

初めて本機の電源を入れたときに、「Press〈F1〉to resume,〈F2〉to Setup」と表示された場合は、次の手順に従ってください。

❶【F2】を押す

BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

❷【F5】、【F6】で時間(24時間形式)を設定し【Enter】を押す

時刻の値は数字キーで入力できます。

❸同様に分、秒、月、日、年(西暦)を順に設定する

言語を日本語に設定している場合は、時、分、秒、年(西暦)、月、日の順に設定します。

❹【F9】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

❺「Yes」を選び、【Enter】を押す

BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

❻【F10】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

❼「Yes」を選び、【Enter】を押す

BIOSセットアップユーティリティが終了し、Windowsが自動的に再起動します。

この後は、p.18「セットアップの作業手順」をご覧になり、作業を続けてください。

◎ セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

電源を入れて、表示される画面をチェックする

CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行することができます(CHKDSKは実行されない場合もあります)。

セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windowsは起動しません。Windowsを再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。

再セットアップについては、『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

◎ セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して強制的に終了する

いったん電源を切った後で、電源を入れ直す場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。その後、上記の「電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。次の「LANケーブルの接続」へ進んでください。

LANケーブルの接続

1. 本機を安全にネットワークに接続するために

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。

LANケーブル(別売)、および無線LANなどを使用して本機を安全にネットワークに接続させるために、以下の対策を行うことを強く推奨します。

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブル、および無線LANなどの接続を行ってください。

❶ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスの中には、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されていますので、ファイアウォールを利用することを推奨します。

本機にインストールされているOSでは標準で「Windowsファイアウォール」機能が有効になっています。

「Windowsファイアウォール」について、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

❷Windows Updateまたは、Microsoft Update

最新かつ重要なセキュリティの更新情報が提供されています。ネットワークに接続後、Windowsを最新の状態に保つために、Windows Updateまたは、Microsoft Updateで「優先度の高い更新プログラム」の更新を定期的に実施してください。

Windows Updateについて、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

Microsoft Updateについて、詳しくはマイクロソフト サポート技術情報-902296をご覧ください。

参照 **マイクロソフトのサポート技術情報について**
「Microsoft Updateを利用するには」
http://support.microsoft.com/kb/902296/ja/

❸ウイルス対策アプリケーションの利用

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション(ウイルスバスター)が「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されています。

コンピュータウイルスから本機を守るために、ウイルスバスターをインストールしてください。

インストール方法については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除／追加」の「ウイルスバスター」をご覧ください。

ウイルスバスターはインストールした環境のまま使用し続けた場合、十分な効果は得られません。日々発見される新種ウイルスに対応するためウイルスパターンファイルを最新の状態にする必要があります。

ウイルスパターンファイルの無償提供期間はアップデート機能の有効化後、90日間です。引き続きお使いになる場合は、ウイルスバスターのウイルスパターンファイルなどを1年間更新できる権利を購入する必要があります。

メモ

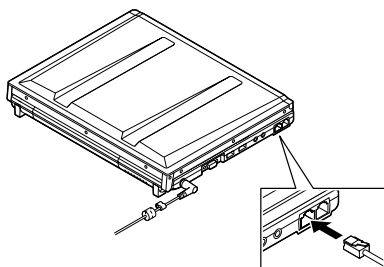
Windows XPのセキュリティ機能(Windowsセキュリティセンター)では、Windowsファイアウォール、Microsoft Updateの自動更新、ウイルス対策アプリケーションが有効になっているかどうかをリアルタイムで監査し、無効になっている場合は画面に警告を表示します。

LANケーブルを接続する場合は、次のページの「2. LANケーブル(別売)を接続する」へ進んでください。

2. LANケーブル(別売)を接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、LANケーブル(別売)を使い、次の手順で接続します。

稼働中のLANに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブルの接続を行ってください。

❶本機の電源を切り、LANケーブルのコネクタを本機のアイコン(品)に従って接続する

❷ハブやスイッチに、LANケーブルのもう一方のコネクタを接続する

ウイルスバスターをインストールした場合は、パターンファイルのアップデートを行います。次の「3. パターンファイルのアップデート」へ進んでください。

3. パターンファイルのアップデート

本機ではWindows起動前にウイルスバスターのウイルスパターンファイルをアップデートすることができるPlatform 5 アップデートエージェントをインストールしています。
ウイルス感染の危険性をより低減させるため、Windowsを起動させる前にパターンファイルのアップデートをおすすめします。

Platform 5 アップデートエージェントの設定方法については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Platform 5 アップデートエージェント」をご覧ください。

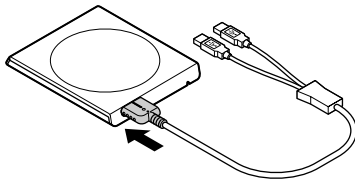
以上でLANケーブルの接続は完了です。
スマートセレクション、およびフリーセレクションで、Office Personal 2003、およびOffice Professional Enterprise 2003を選択した場合は、次のページの「CD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVDスーパーマルチドライブを接続する」へ進んでください。
その他の場合は、p.27「6　お客様登録」へ進んでください。

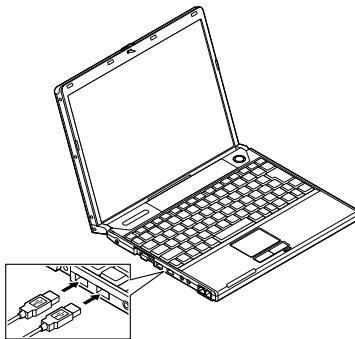
CD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVDスーパーマルチドライブを接続する

CD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブ(以降、総称してCD/DVDドライブ)を選択した場合は、次の手順で本機に接続してください。

CDレスモデルをお使いの場合は、別売のCD/DVDドライブを接続してください。接続方法は、CD/DVDドライブに添付のマニュアルに従ってください。
また、Office Personal 2003、またはOffice Professional Enterprise 2003を選択した場合、CD/DVDドライブを接続した後、電源を入れて本機を起動させてから、次のページの「Microsoft® Office 2003モデル注意事項」へ進んでください。

❶CD/DVDドライブ背面に、CD/DVDドライブ用ケーブルの○マークのある方のプラグを接続する

プラグの向きに注意して、差し込んでください。

❷CD/DVDドライブ用ケーブルのUSBコネクタのある方のプラグを、本機左側面のUSBコネクタ(⭠)に接続する

プラグの向きに注意して、差し込んでください。

以上でCD/DVDドライブの接続は完了です。

スマートセレクション、およびフリーセレクションで、Office Personal 2003、およびOffice Professional Enterprise 2003を選択した場合は、次の「Microsoft® Office 2003モデル注意事項」へ進んでください。
その他の場合はp.27「6　お客様登録」へ進んでください。

Microsoft® Office 2003モデル注意事項

Microsoft® Office 2003 Service Pack 1のインストール

Office Personal 2003モデル、またはOffice Professional Enterprise 2003モデルをお使いの方は、電子マニュアル(『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Office Personal 2003」の「Office 2003 SP1、Home Style+ SP1の追加」、「Office Professional Enterprise 2003」の「Office 2003 SP1の追加」をご覧になり、それぞれ必要なService Packをインストールしてください。

メモ

- 電子マニュアルの参照方法については、p.29「7　マニュアルの使用方法」の「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。
- インストールの途中で「Office Personal 2003」、「Home Style+」、または「OfficeProfessional Enterprise 2003」のCD-ROMが必要になる場合があるので、あらかじめ用意しておいてください。

以上でMicrosoft® Office 2003モデル注意事項は完了です。
次のページの「6　お客様登録」へ進んでください。

6 お客様登録

本製品のお客様登録はInternet Explorerの「お気に入り」メニューにある「NEC8番街(お客様登録)」からインターネットによる登録を行ってください(登録料、会費は無料です)。

メモ

- VersaPro Jをお使いの場合は、デスクトップにある「NEC8番街(お客様登録)」からでも登録することができます。
- Microsoft社に対するユーザー登録は、「ユーザー登録ウィザード」で行うことができます。「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に「regwiz /r」と入力してください。ユーザー登録についての詳細は「ヘルプとサポート」をご覧ください。

以上でお客様登録は完了です。
次の「7　マニュアルの使用方法」へ進んでください。

7 マニュアルの使用方法

本機に添付、またはCD-ROM(「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」)に格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。
また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類をなくした場合は『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「その他」をご覧ください。

マニュアルの使用方法

※印のマニュアルは、「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」として「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っています。「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」の使用方法については、p.29「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

●『安全にお使いいただくために』
本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

●『活用ガイド　再セットアップ編』
本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

●『活用ガイド　ハードウェア編　UltraLite』　※
本機の各部の名称と機能、内蔵機器の増設方法、システム設定（BIOS設定）について確認したいときにお読みください。

●『活用ガイド　ソフトウェア編』　※
アプリケーションの概要と削除/追加、ハードディスクのメンテナンスをするとき、他のOSをセットアップする（VersaPro Jではプリインストールされている OS以外は使用できません）とき、またはトラブルが起きたときにお読みください。

●選択アプリケーションのマニュアル
Office Personal 2003、またはOffice Professional Enterprise 2003を選択した場合、マニュアルが添付されています(p.2「1　型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●無線LAN用マニュアル　※
『無線LAN（IEEE802.11a/b/g）について』
無線LANの各機能について知りたいときにお読みください。

●『内蔵指紋センサ（ライン型）　ユーザーズガイド』
モデルによって、『内蔵指紋センサ（ライン型）　ユーザーズガイド』が添付されています(p.2「1　型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●『InfoCage®/モバイル防御 インストールガイド』
モデルによって、『InfoCage®/モバイル防御 インストールガイド』が添付されています(p.2「1　型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●『保証規定＆修理に関するご案内』
パソコンに関する相談窓口、保証期間と保証規定の詳細内容およびQ＆A、有償保守サービス、お客様登録方法、NECビジネスPC/Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」について知りたいときにお読みください。

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト（Microsoft Press）では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

CDレスモデルをお使いの場合は、別売のCD/DVDドライブを接続してください。接続方法は、CD/DVDドライブに添付のマニュアルに従ってください。
また、CD/DVDドライブを選択した場合は、p.25「CD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVDスーパーマルチドライブを接続する」をご覧になり、接続を行ってください。

❶CD/DVDドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする

❷「エクスプローラ」、または「マイコンピュータ」を開く

❸CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック

❹「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック

「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」が表示されます。

PDF形式のマニュアル(ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAdobe Readerをインストールしておく必要があります。詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Adobe Reader」をご覧ください。

メモ

・ 必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用ください。
「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用の際、フォルダ名・ファイル名などは変更しないでください。コピー先のフォルダ名は全て英数字の半角文字である必要があります。それ以外の文字(「デスクトップ」などの日本語)のフォルダ名にコピーすると起動することができなくなります。
・ Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になれません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくと便利です。
・ NECビジネスPC/Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っております。
  http://nec8.com/
「サポート情報」→「商品情報・消耗品」→「本体添付マニュアル」の「ビジネスPC(Mate&VersaPro)の電子マニュアル」から、電子マニュアルビューアをご覧ください。
また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。
  http://pcm.mepros.com/

以上でマニュアルの使用方法は完了です。
次のページの「8　使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

8 使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については、『活用ガイド　ハードウェア編　UltraLite』、『活用ガイド　ソフトウェア編』、および『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

1. 最新の情報を読む

補足説明

補足説明には、本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアルには記載されていない最新の情報について説明していますので、削除しないでください。以下の方法でお読みください。

・「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「補足説明」をクリック

2. 「再セットアップ用CD-ROM」の作成について

「再セットアップ用CD-ROM」の作成機能については、出荷時の製品構成でのみサポートしております。

「再セットアップ用CD-ROM」作成についての詳細は『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

3. Windows XPのService Packについて

本機にはService Pack 2がインストールされています。
ただし、本機ではService Pack 2を削除することはできません。

4. 不正使用/盗難防止について

スーパバイザ/ユーザパスワード、盗難防止用ロックなど

本機には、本機の不正使用を防止する機能(スーパバイザ/ユーザパスワード)、本機や内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難を防止するため、錠をかける機能(盗難防止用ロック)、盗難にあってもハードディスクドライブのデータの漏洩を防ぐ機能(ハードディスクパスワード)があります。この他にも便利な機能があります。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　UltraLite』の「PART1 本体の構成各部」の「セキュリティ機能/マネジメント機能」をご覧ください。

5. 省電力機能について

パワーモードチェンジャー

「パワーモードチェンジャー」をインストールすることで、CPUの速度やバッテリの状況の確認、電源設定の設定および省電力機能の設定を簡単に行えます。

詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　UltraLite』の「PART1　本体の構成各部」の「電源」の「パワーモードチェンジャーを使用する」をご覧ください。

Intel SpeedStep® テクノロジ

電源の種類やCPUの動作負荷によって、動作性能を切り替えることができます。

詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　UltraLite』の「PART1　本体の構成各部」の「省電力機能」をご覧ください。

6. データのバックアップの設定

データのバックアップ方法については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください。

❶StandbyDisk Solo RB

StandbyDisk Solo RBは「InfoCage®/モバイル防御」と併用することはできません。

ハードディスク内にある第1パーティション(システムドライブ)の使用領域とほぼ同じ容量をバックアップ先(以後スタンバイ・エリア)として同パーティション内に確保し、使用領域のバックアップを行います。

稼動中のシステムに障害が起きた際、スタンバイ・エリアからシステムを起動することで、ハードウェア障害であるか、あるいはソフトウェア障害であるかを絞り込むことが可能です。

次の方法で「StandbyDisk Solo RB インストールガイド」を起動し、StandbyDisk Solo RBをインストールしてください。なお、StandbyDisk Solo RB は、VersaProのみ使用できます。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→「StandbyDisk Solo RBインストールガイド」をクリック

また、WebサイトからStandbyDisk Solo RBの上位互換ソフトウェアであるStandbyDisk Soloにアップグレードすることができます(有償)。

http://www.netjapan.co.jp/solo/rb1a4/

7. LANDesk® Management Agentのセットアップについて

LANDesk Management AgentはLANDesk Software, Ltd.から販売されているLANDesk® Management Suite(別売)を使用してLANDesk® Management Suite クライアントエージェントのリモートインストールをサポートするアプリケーションです。
LANDesk Management Suite クライアントエージェントをインストールすることにより、LANDesk Management Suiteによる管理を可能にし、情報機器のソフトウェアおよびハードウェアの資産管理、セキュリティパッチの適用状況、OSやアプリケーションの更新などができます。

LANDesk Management Agentのセットアップ方法については、本機添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」内の「LDMA」ディレクトリの「SETUP.TXT」をご覧ください。

なお、LANDesk Management Agentは、VersaProのWindows XP Professionalモデルのみ使用できます。

8. セキュリティの設定

❶セキュリティチップ ユーティリティ

本機では、セキュリティチップ ユーティリティを利用できます。
セキュリティチップ ユーティリティでは、電子メールの保護機能や、ファイルとフォルダの暗号化(EFS)機能、Personal Secure Drive(PSD)機能が利用できます。
本機では、本体にハードウェア的にTPM(Trusted Platform Module)と呼ばれるセキュリティチップを実装し、セキュリティチップ内で暗号化や暗号化の解除、鍵の生成をするため、強固なセキュリティ機能を持っています。
また、セキュリティチップ上に暗号鍵を持つため、ハードディスクを取り外して持ち出されてもデータを読みとられることはありません。
詳しくは、「セキュリティチップ ユーティリティCD-ROM」にあるマニュアルをご覧ください。「_manualTPM」フォルダの「index」をダブルクリックして起動します。
なお、セキュリティチップ ユーティリティは、Windows XP Professionalモデルのみ使用できます。

❷IWS™ Desktop Security

IWS™ Desktop Securityは「InfoCage®/モバイル防御」、および「SecureFinger」と併用することはできません。

IWS™ Desktop Securityは、保護されたWebサイトや文書へのアクセスに必要な情報(ユーザID、パスワードなど)をセキュリティチップ(以下、TPM)と連携し安全に格納・管理し、必要に応じて自動入力することができます。

また、TPMと連携することで、大切なファイルの保護(暗号化)や、Windowsログオン時のセキュリティを強化することができます。

詳しくは、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「IWS™ Desktop Security」をご覧ください。

なお、IWS™ Desktop Securityは、Windows XP Professionalモデルのみ使用できます。

❸暗号化ファイルシステム(EFS)

EFS(Encrypting File System)は、Windows XP Professionalの標準ファイルシステムであるNTFSが持つファイルやフォルダの暗号化機能。暗号化を行ったユーザ以外、データ復号化が行えないため、高いセキュリティ効果をもたらすことが可能です。

また、Windows XP Professionalインストールモデルでは、「ハードディスク暗号化ユーティリティ」を使用することにより、暗号化ファイルシステムを簡単に設定することができます。

詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』は「アプリケーションの概要と削除/追加」の「ハードディスク暗号化ユーティリティ」をご覧ください。

なお、「ハードディスク暗号化ユーティリティ」はWindows XP Professionalモデルのみ使用できます。

9. 上手な使い方

❶トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。
また、トラブルが起きてしまった場合にそなえ、「システム修復ディスク」をあらかじめ作成しておくことをおすすめします。「システム修復ディスク」の作成方法は、『活用ガイド　再セットアップ編』を、その他のトラブルの予防については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「トラブルの予防」をご覧ください。

❷本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源コードやマウスなど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　UltraLite』の「PART4 付録」の「お手入れについて」をご覧ください。

10.保証期間と保守について

使用開始日表示ユーティリティ

本製品の保証期間は、製品ご購入日、もしくは初回電源投入日のどちらか遅い方の日から開始します。
初回電源投入日、型番、製造番号、構成コードは以下の方法で確認できます。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→「使用開始日表示ユーティリティ」をクリック

本製品の保証についての詳細は『保証規定＆修理に関するご案内』をご覧ください。

9 付録　機能一覧

仕様一覧

型名*1			VY12F/CH-W VJ12F/CH-W
CPU *20			インテル® Pentium® M プロセッサ 超低電圧版 753 (拡張版Intel SpeedStep®テクノロジ搭載)
	クロック周波数		1.20GHz
キャッシュメモリ(CPU内蔵)	1次		インストラクション用32KB/データ用32KB
	2次		2,048KB
システムバス			400MHz(メモリバス：266MHz)
チップセット			インテル® 855GMEチップセット
セキュリティチップ *31			TPM v1.1b準拠
最大メモリ(メインメモリ)			1,280MB [SO-DIMMスロット×1]
表示機能	表示素子*21		12.1型TFTカラー液晶(XGA)
		LCDドット抜け*23	0.00034% 以下
	グラフィックアクセラレータ		インテル® 855GMEチップセットに内蔵(デュアルディスプレイ機能*4、スムージング機能をサポート)
		ビデオRAM	メインメモリより1〜64MBを自動的に使用。
	解像度・表示色*11(別売の外部ディスプレイ接続時*12)	800×600ドット〈SVGA〉	最大1,677万色*13(最大1,677万色)
		1,024×768ドット〈XGA〉	最大1,677万色*13(最大1,677万色)
		1,280×1,024ドット〈SXGA〉	最大1,677万色*13(最大1,677万色) ※バーチャルスクリーン機能により実現
		1,400×1,050ドット〈SXGA+〉	−(−)
		1,600×1,200ドット〈UXGA〉	最大1,677万色*13(最大1,677万色) ※バーチャルスクリーン機能により実現
		1,920×1,440ドット	−(−)
サウンド機能	音源/サウンド機能		PCM録音再生機能(ステレオ/モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8-48kHz、全二重化対応)、MIDI音源機能(ソフトウェアMIDI[GM、GS演奏モード対応、DLS2*15対応])、マイクノイズ除去機能*16、3Dポジショナルサウンド
	スピーカ/スピーカ定格出力		内蔵モノラルスピーカ/0.5W
	サウンドチップ		ADI社製 AD1981BL搭載
通信機能	LAN		標準内蔵(100BASE-TX/10BASE-Tに対応)
	FAXモデム *40	モデム	モデム内蔵(データ転送速度 最大56kbps*41(V.90)エラー訂正V.42/MNP4データ圧縮V.42bis/MNP5)
		FAX	内蔵(データ転送速度 最大14.4kbps (V.17)FAX制御クラス1)
入力装置	キーボード		本体との一体型、JIS標準配列(英数・かな)、Fnキー(ホットキー対応)、12ファンクションキー・Windowsキー・アプリケーションキー・右Ctrlキー付
	ワンタッチスタートボタン		「ワンタッチスタートボタンの設定」*33を標準添付。
	ポインティングデバイス		NXパッド標準装備
インターフェイス	IEEE1394		−
	USB		3(右側面×1*47、左側面×2)、USB2.0対応
	ディスプレイ		外部ディスプレイコネクタ(アナログRGB) ミニD-sub15ピン×1
	通信関連		RJ45 LANコネクタ、RJ11モジュラコネクタ(FAXモデム)
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1(マイク入力インピーダンス20kΩ、入力レベル5mVrms、バイアス電圧2.5V)
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1(ヘッドフォン出力インピーダンス 16Ω-100Ω「推奨32Ω」、出力電力 5mW/32Ω)
		ライン出力	ヘッドフォン出力と共用 (ライン出力レベル 1Vrms)

型名*[1]	VY12F/CH-W VJ12F/CH-W
PCカードスロット	TypeⅠ/Ⅱ×1スロット(TypeⅢ使用不可)、PC Card Standard準拠、CardBus対応
パワーマネジメント	自動または任意設定可能(CPU制御*[20]、HDD制御、モニタ節電機能、スタンバイ機能、ハイバネーション機能)
電源	リチウムイオンバッテリ(DC7.4V、5200mAh)(バッテリパックは消耗品です)(ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全規格を取得していますが、添付の電源コードはAC100V用(日本仕様)です。また、ウォールマウントプラグは125Vまでの、日本および米国の安全認定を取得しています。日本以外の国で使用する場合は、別途電源コードが必要です。)
消費電力*[29](最大構成時)	約10W(最大約40W)
エネルギー消費効率(省エネ基準達成率)*[3]*[29]	S区分 0.00025(AAA)
電波障害対策	VCCI ClassB
外形寸法(突起部含まず)	270(W)×217(D)×26.2〜37.2*[6](H)㎜ (バッテリ部含む)
質量(標準バッテリ含む)*[8]	約996g*[38]
温湿度条件	5〜35℃、20〜80%(ただし結露しないこと)
インストール可能OS *[17]*[24]*[27]	Windows® XP Professional(SP2)*[14]、Windows® XP Home Edition(SP2)*[14]
主な添付品	ACアダプタ(ウォールマウントプラグ付)、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM*[17]、印刷マニュアル類、保証書 他

＊ 1：セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の『型番を控える』をご覧ください。
＊ 3：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。
＊ 4：本体の液晶ディスプレイと、外付けディスプレイで、異なるデスクトップ画面を表示する機能。
＊ 6：最薄部〜最厚部。ゴム足部の突起部を除く。
＊ 8：PCカードは未装着。
＊11：表示素子(本体液晶ディスプレイ)より低い解像度を選択した場合、拡大表示機能により、液晶画面全体に表示可能。拡大表示によって文字などの線の太さが不均一になることがあります。
＊12：本機の持つ解像度及び色数の能力であり、接続するディスプレイ対応解像度、リフレッシュレートによっては表示できない場合があります。本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイの同画面表示可能。ただし、拡大表示機能を使用しない状態では、外付けディスプレイ全体には表示されない場合があります。
＊13：1,677万色表示は、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現。
＊14：プリインストールOS以外のOS環境では、拡張版Intel SpeedStep®機能が使用できない場合があります。
＊15：DLSは「DownLoadable Sounds」の略です。DLSを使うと、カスタム・サウンド・セットをSoundMAXシンセサイザにロードできます。
＊16：ノイズ除去機能によって、音声入力信号から周辺雑音が取り除かれ、クリーンでクリアな信号がアプリケーションに渡されます。
＊17：セレクションメニューまたは別売の拡張機器で選択可能なCD-ROM系機器が必要です。
＊20：使用環境や負荷によりCPU動作スピードをダイナミックに変化させる制御を搭載しています。
＊21：液晶ディスプレイは非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。また、見る角度によっては色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。なお、ドット抜けについては＊23もご覧ください。
＊23：ドット抜け割合の基準値はISO13406-2の基準に従って、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。詳細はhttp://nec8.com/products/pc/lcddot.html をご参照ください。
＊24：インストール可能OS用ドライバは本体に添付しておりません。また、VersaPro JではプリインストールされているOS以外は使用できません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」の「ダウンロード・OS情報・注意事項」→「ダウンロード」の「ビジネスPC(Mate&VersaPro)/プリンタ(MultiWriter&MultiImpact)/PC周辺機器」の「インストール可能OS用ドライバ(サポートOS用ドライバ)」の「VersaPro」に順次掲載いたします。なお、インストール可能OSをご利用の際、「インストール/添付アプリケーション」がご利用いただけない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に「インストール可能OSをご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。
＊27：「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは( )内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は( )内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。
＊29：OSはWindows® XP Professional、メモリ256MB(エネルギー消費効率はメモリ1,280MB)、ハードディスク20GB(1.8型HDD)の構成で測定。
＊31：プリインストールのWindows® XP Professional以外では使用できません。

＊33：任意のアプリケーションの起動を可能にするワンタッチスタートボタン機能を、指定されたキー(｢Fn｣＋｢1｣、｢Fn｣＋｢2｣の２つ)に設定可能。
＊38：内蔵指紋センサ（ライン型）非搭載かつ最小構成時。内蔵指紋センサ（ライン型）搭載の最軽量構成時は約 1,009g。
＊40：回線状態によっては、通信速度が変わる場合があります。また、内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。内蔵 FAX モデムの海外で利用可能な地域など詳細は http://nec8.com/products/versapro/modem.html にてご確認ください。
＊41：56kbps はデータ受信時の最大速度です。データ送信時は最大 33.6kbps となります。
＊47：USB ポートのうち、右側面 1 ポートは挿抜耐性を強化したコネクタを採用しております。

◆セレクションメニュー＊57

型名＊1			VY12F/CH-W VJ12F/CH-W
再セットアップ用データ＊50	HDD		再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納＊52
	CD-ROM		再セットアップ用CD-ROM＊54添付
メモリ＊51	256MB		ECC無しDDR-SDRAM、PC2700＊87、オンボード256MB
	512MB		ECC無しDDR-SDRAM、PC2700＊87、オンボード256MB+256MB SO-DIMM ×1
	768MB		ECC無しDDR-SDRAM、PC2700＊87、オンボード256MB+512MB SO-DIMM ×1
	1,280MB		ECC無しDDR-SDRAM、PC2700＊87、オンボード256MB+1,024MB SO-DIMM ×1
通信機能	無線LAN (IEEE802.11a/b/g) ＊60＊84		IEEE802.11a/b/g準拠＊58＊74＊81、WPA2対応、WEP対応〔暗号鍵長64/128/152ビット(ユーザ設定鍵長40/104/128ビット)〕
マウス	USBマウス(ボール)		USBマウス(ボール式、スクロールホイール付き)(ケーブル長:約80㎝)
	USBマウス(光センサー)		USBマウス(光センサー式＊85、スクロールホイール付き)(ケーブル長:約80㎝)
FDD			USB接続(USB1.1準拠)外付け、3.5型、3 モード(720KB/1.2MB/1.44MB)対応＊72
ハードディスク	20GB(1.8型HDD)		約20GB＊56＊89、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応
	40GB(1.8型HDD)		約40GB＊63＊89、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応
	80GB		約80GB＊63＊89、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応
	100GB		約100GB＊63＊89、Ultra ATA-100、4,200rpm、SMART機能対応
CD-ROM系 ＊61＊66	CD-ROM		USB接続(USB2.0対応)外付け、最大24倍速(最内周10倍速、最外周24倍速)
	CD-R/RW with DVD-ROM ＊53＊65＊67		USB接続(USB2.0対応)外付け、CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大4倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大4倍速、DVD-RAM読み込み:最大2倍速＊76
	DVDスーパーマルチドライブ ＊53＊65＊67		USB接続(USB2.0対応)外付け、CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD-R(1層)書き込み:最大8倍速＊77、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(1層)書き込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(2層)書き込み:最大2.4倍速、DVD-RW書き換え:最大4倍速＊78、DVD+RW書き換え:最大4倍速＊83、DVD-RAM読み込み:最大5倍速＊76、DVD-RAM書き換え:最大5倍速＊76＊88
USBメモリ			256MB(USB2.0対応)
セキュリティ機能	指紋センサ＊55＊80		ライン型。OSログオン時、スクリーンセーバ解除時などに指紋による認証が可能。
バッテリ＊62	リチウムイオン	駆動時間 (JEITA＊59準拠)	約5.0～9.0時間(約7.0時間)＊82
		充電時間 (ON時/OFF時)	約3.0時間/約3.0時間

＊50: セレクションによっては再セットアップ用CD-ROMは添付されておりません。HDDに格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法はhttp://nx-media.ssnet.co.jp/をご参照ください。

＊51: メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設RAMボードを取り外す必要がある場合があります。

＊52: HDD内の約3GBを再セットアップ領域として使用。これらの「再セットアップ用バックアップイメージ」をCD-R媒体に書き出す場合には、ご購入時にセレクションメニューでCD-R/RW with DVD-ROMまたはDVDスーパーマルチドライブの選択が必要です。

＊53: DVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 5」が添付されます。

＊54: 再セットアップ用CD-ROMを使用するには、セレクションメニューまたは別売の拡張機器で選択可能なCD-ROM系機器が必要です。なお、再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。

＊55: 内蔵指紋センサ(ライン型)はプリインストールのWindows® XP Professional以外ではご利用になれません。

＊56: 12GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済み。また、最後の約3GBを再セットアップ領域として使用。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。

＊57: セレクションメニュー中の各オプションは単体販売を行っておりません。

＊58: 接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。また、IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性がありません。

＊59：JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）に基づいて測定したバッテリ駆動時間です。
JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）
・Windows® XP Professional にて測定。
駆動時間＝（測定法a+測定法b）/2
測定法a、b共通条件<条件>
1）BIOSセットアップメニューの[Advanced][Frame Buffer Compression]をEnabledに変更。
2）「電源オプションのプロパティ」・「アラーム」・「バッテリ低下アラーム」・チェックボックスのチェックを外し、「バッテリ低下アラーム」を無効にする。
3）「電源オプションのプロパティ」・「アラーム」・「バッテリ切れアラーム」・チェックボックスのチェックを外し、「バッテリ切れアラーム」を無効にする。
4）LCD輝度：測定法aに於いて20cdを下回らない値に設定。
測定法a：輝度8段階中下から2段目、測定法b：輝度8段階中下から1段目。
5）「画面のプロパティ」・「スクリーンセーバー」タブ内の「スクリーンセーバー(S)」・「(なし)」に設定し、スクリーンセーバーを無効にする。
6）「管理ツールのプロパティ」・「サービス」・「Automatic Updates」を停止にする。
7）「ネットワーク接続」・「ローカルエリア接続」を無効にする。
8）壁紙を白にする。
9）システム構成ユーティリティを起動し、「全般」タブ内の「スタートアップのオプションを選択(S)」を選択し、「スタートアップの項目を読み込む(O)」のチェックボタンを外す。
測定法a <条件>
1）動画再生ソフト：Windows Media Player（V6.4）にて連続再生。
2）「電源オプションのプロパティ」・「電源設定」タブ内の「バッテリ使用」の項目を全て「なし」に設定。
3）「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」・「音量」・「デバイスの音量」・「ミュート（M）」のチェックボックスにチェックを入れる。
測定法b <条件>
1）デスクトップ画面の表示を行った状態で放置。
2）「電源オプションのプロパティ」・「電源設定」タブ内の「バッテリ使用」の項目の「ハードディスクの電源を切る(I)」を「3分後」に設定。他の項目は「なし」に設定。
＊60：業界団体Wi-Fi Allianceの標準規格「Wi-Fi®」認定を取得した無線LANモジュールを内蔵しております。
＊61：メディアの種類、フォーマット形式によっては記載の速度が出ない場合があります。
＊62：バッテリ駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって上記記載時間と異なる場合があります。バッテリパックは消耗品です。長時間駆動設定時、CPU動作性能はLOWモード。
＊63：20GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済み。また、最後の約3GBを再セットアップ領域として使用。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。
＊65：書き込みツール「RecordNow!/DLA」が添付されます。
＊66：コピーコントロールCDなど一部の音楽CDの作成および再生ができない場合があります。
＊67：バッファアンダーランエラー防止機能付き。
＊72：1.44MB以外(720KB/1.2MB)のフォーマット不可。
＊74：Super AG™に対応。Super AG™機能を使用するには、接続先の無線LAN機器もSuper AG™に対応している必要があります。
＊76：片面4.7GBのDVD-RAMの速度です。カートリッジタイプのDVD-RAMメディア(TYPE1)はご使用できません。また標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。
＊77：DVD-RはDVD for General Ver2.0/2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊78：DVD-RWは、DVD-RW Ver1.1/1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊80：内蔵指紋センサ（ライン型）とUSBロック機能は同時使用できません。
＊81：Atheros XR™(eXtended Range)に対応。Atheros XR™機能を使用するには、接続先の無線LAN機器もAtheros XR™に対応している必要があります。
＊82：最小構成時。
＊83：8倍速記録対応DVD+RWディスクへの記録はできません。
＊84：無線LAN(5GHz)は、IEEE802.11a準拠(J52/W52/W53)です。J52/W52/W53は社団法人電子情報技術産業協会による表記です。詳細は http://nec8.com/products/wireless/index.html をご参照ください。無線LAN(5GHz)の使用は、電波法令により屋内に限定されます。
＊85：光センサーマウスは、光沢のある白い面などの上で使用すると意図した通りに動作しない場合があります。その際は光学式マウスに対応したマウスパッドなどを別途ご用意ください。
＊87：メモリバス266MHz（PC2100相当）で動作します。
＊88：DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 3X-speed Revision 2.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊89：Platform 5 アップデートエージェント機能用の領域として約400MBを使用。この領域は、WindowsやBIOSセットアップユーティリティには表示されません。

内蔵FAXモデム

項目		規格
適用回線		加入電話回線
ダイヤル方式		パルスダイヤル(10/20PPS) トーンダイヤル(DTMF)
FAX機能	交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
	同期方式	半2重調歩同期方式
	通信規格*1	ITU-T V.17:14,400/12,000/9,600/7,200bps V.29:9,600/7,200bps V.27ter:4,800/2,400bps V.21ch2:300bps
	送信レベル	−11〜−15dBm(出荷時−15dBm)
	受信レベル	−10〜−40dBm
	制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド(CLASS1)
データモデム機能	同期方式	全2重調歩同期方式
	通信規格	ITU-T V.90:56,000〜28,000bps*2 V.34:33,600〜2,400bps V.32bis:14,400〜4,800bps V.32:9,000〜4,800bps V.22bis:2,400/1,200bps V.22:1,200/1,600bps V.21:300bps
	エラー訂正	ITU-T V.42(LAPM)MNP class4
	データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
	送信レベル	−11〜−15dBm(出荷時−15dBm)
	受信レベル	−10〜−40dBm
	制御コマンド	HayesATコマンド準拠*3

＊1 ：回線状態によって、通信速度が変わる場合があります。
＊2 ：送信時は33,600〜2,400bpsになります。
＊3 ：ATコマンドについては、『ATコマンド一覧』をご覧ください。

内蔵LAN

●規格概要

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	100BASE-TX 使用時：100Mbps
	10BASE-T 使用時：10Mbps
伝送路	100BASE-TX 使用時：UTP カテゴリ5
	10BASE-T 使用時：UTP カテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大1024台／ネットワーク
ステーション間距離／ ネットワーク経路長※	100BASE-TX：最大約200m／ステーション間 10BASE-T：最大約500m／ステーション間 最大100m／セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD 方式

※：リピータの台数など、条件によって異なります。

無線LAN(IEEE802.11a/b/g)

無線LAN(IEEE802.11a/b/g)は、2.4GHz無線LAN(IEEE802.11b/g)規格と5GHz無線LAN(IEEE802.11a)規格を切り替えて通信することができる無線LANです。それぞれの無線LAN規格の概要は以下の通りです。

無線LAN(IEEE802.11a/b/g)は、Atheros Communications社が開発したワイヤレス通信の高速化技術「Super AG™」※4および長距離化技術「Atheros XR™(eXtended Range)」※5に対応しています。

●2.4GHz無線LAN(IEEE802.11b/g)規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b ARIB STD-T66 ※6
通信速度	IEEE802.11g : 54/48/36/24/18/12/6 (Mbps) ※1 IEEE802.11b : 11/5.5/2/1 (Mbps) ※1
変調方式	OFDM方式(54/48/36/24/18/12/6Mbps) DS-SS方式(11/5.5/2/1Mbps時)
無線チャンネル	1～13ch(アクティブスキャン)
周波数帯域	2.4GHz帯域(2.4～2.4835GHz)
セキュリティ	WPA(TKIP/AES) WPA2(AES) WEP(鍵長64bit/128bit/152bit※2) IEEE802.1X

●5GHz無線LAN(IEEE802.11a)規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11a ARIB STD-T71 ※6
通信速度	54/48/36/24/18/12/6 (Mbps) ※1
変調方式	OFDM方式
無線チャンネル※8	36ch、40ch、44ch、48ch(アクティブスキャン) 34ch、38ch、42ch、46ch、52ch、56ch、60ch、64ch(パッシブスキャン)※7
周波数帯域	5GHz帯域(5.15～5.25GHz)※3
セキュリティ	WPA(TKIP/AES) WPA2(AES) WEP(鍵長64bit/128bit/152bit※2) IEEE802.1X

※1：各規格による速度(理論値)であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※2：設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bit、128bitです。
※3：5GHz無線LANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。
※4：Super AG™機能を利用するには、接続先の無線LAN機器もSuper AG™に対応している必要があります。
※5：Atheros XR™機能を使用するには、接続先の無線LAN機器もAtheros XR™に対応している必要があります。
※6：ARIBについての表記の説明は、「「無線LAN(IEEE802.11a/b/g)」について」－ご注意 をご覧ください。
※7：パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。
※8：2005年12月時点。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス[NEC UltraCare℠ International Service]対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。
サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://www.ultracare.com
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows XP、および本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
(10) 本書に記載しているWebサイトは、2005年12月現在のものです。

初版 2006年 1月

853-810602-217-A
Printed in Japan

このマニュアルは再生紙(古紙率100%)を使用しています。